

I 第41週の発生動向 (2011/10/10~2011/10/16)

1. インフルエンザについては、東地方+青森市保健所管内においてA型の発生が報告されています。
2. 手足口病については、東地方+青森市保健所、上十三保健所管内において第31週から、むつ保健所管内において、第32週から**警報**が継続しています。

II 第41週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

青森県内の定点(医療機関)数については青森県感染症発生動向調査TOPページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)		
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点	
小児科 +内科 (85) インフルエンザ	1	0.1											1	0.0	1				1	0.1
(74) RSウイルス感染症	3	0.3	4	0.4	1	0.1	1	0.2					9	0.2	-3			3	0.4	
(75) 咽頭結膜熱	1	0.1											1	0.0	-2			1	0.1	
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	1.1	3	0.3	6	0.7			4	0.7			23	0.5	8			10	1.3	
(77) 感染性胃腸炎	16	1.8			5	0.6	2	0.4	3	0.5	5	1.3	31	0.7	-5	6	6.0	10	1.3	
(78) 水痘	12	1.3	4	0.4	2	0.2	1	0.2	2	0.3	6	1.5	27	0.6	-25	7	7.0	5	0.6	
(79) 手足口病	29	3.2	2	0.2	16	1.8			19	3.2	35	8.8	101	2.4	-16	2	2.0	27	3.4	
(80) 伝染性紅斑	1	0.1											1	0.0	0			1	0.1	
(81) 突発性発しん	5	0.6	5	0.6	1	0.1	1	0.2	4	0.7	1	0.3	17	0.4	-1			5	0.6	
(82) 百日咳					1	0.1							1	0.0	-1					
(83) ヘルパンギーナ	3	0.3	1	0.1					1	0.2	1	0.3	6	0.1	-18			3	0.4	
(84) 流行性耳下腺炎	2	0.2			19	2.1			16	2.7	2	0.5	39	0.9	-8			2	0.3	
眼科 (86) 急性出血性結膜炎															-1					
(87) 流行性角結膜炎	1	1.0			1	0.5	1	1.0	6	3.0			9	1.0	-1			1	0.5	
(92) クラミジア肺炎															0					
基幹 (93) 細菌性髄膜炎															0					
(95) マイコプラズマ肺炎			6	6.0	18	18.0									21					
(96) 無菌性髄膜炎							1	1.0					1	0.1	0					

は警報、は注意報。「空欄」：患者発生無し。

III 表II以外の感染症法対象疾患 (注：届出状況は速報値です)

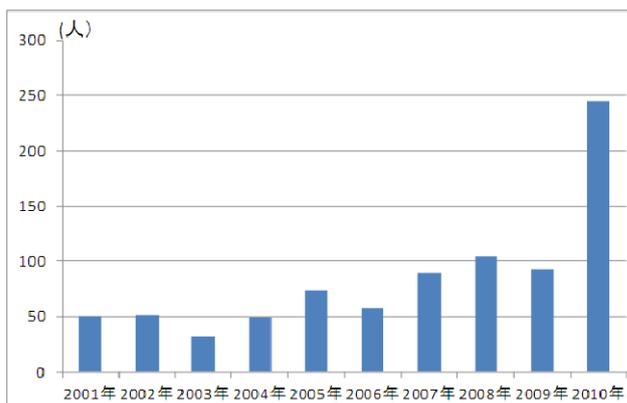
- (9) 結核(二類全数把握疾患)：青森市1人、弘前1人、八戸2人、上十三3人(23年計:341人)
- (16) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患)：八戸1人(23年計:23人)
- (72) 破傷風(五類全数把握疾患)：弘前1人(23年計:3人)

IV 病原体検出情報 ※ () 内は、検査材料及び検体採取日、患者数です。

- ・無菌性髄膜炎・ヘルパンギーナ患者1名(糞便、鼻汁、8/21、8/22)・・・**コクサッキーウイルスA10型**：弘前
- ・手足口病・じんましん患者1名(糞便、7/21)・・・**コクサッキーウイルスA16型**及び**ライノウイルス**、**アデノウイルス1型**、**ヒトボカウイルス**：弘前

感染症の窓

デング熱 (四類全数把握疾患)



デング熱は、蚊によって媒介されるデングウイルス感染症です。デングウイルスは、ヒト→蚊→ヒトの感染環を形成します。病態は、一過性の熱性疾患の症状を呈するデング熱と、重症型のデング出血熱やデングショック症候群の二つがあります。

デングウイルスは、日本脳炎ウイルスと同じフラビウイルス科に属し、4つの血清型(1型~4型)に分類されます。例えば血清1型のウイルス感染した場合、その血清型に対しては終生免疫を獲得するとされていますが、他の血清型に対する交叉防御免疫は数カ月で消失し、その後、他の型に感染した時にデング出血熱になる確率が高くなると言われています。

日本国内での感染はありませんが、海外旅行で感染して国内で発症する例があり、患者届出数は増加傾向にあります。(IDWR 「感染症の話」)

図 国内年別届出数推移

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（青森県）（届出数は速報値です） 単位：人 2011年第22週～第40週

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
22	H23.5.30 ~ H23.6.5	つつが虫病2人					
23	H23.6.6 ~ H23.6.12	つつが虫病1人	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人 バンコマイシン耐性腸球菌感染症1人		つつが虫病1人	つつが虫病1人	
24	H23.6.13 ~ H23.6.19		梅毒1人	急性脳炎1人			
25	H23.6.20 ~ H23.6.26		腸管出血性大腸菌感染症1人			つつが虫病1人 梅毒1人	つつが虫病1人
26	H23.6.27 ~ H23.7.3	つつが虫病2人	つつが虫病2人			梅毒1人	
27	H23.7.4 ~ H23.7.10					後天性免疫不全症候群1人	
28	H23.7.11 ~ H23.7.17	レジオネラ症1人 破傷風1人	腸管出血性大腸菌感染症2人 破傷風1人			腸管出血性大腸菌感染症1人	
29	H23.7.18 ~ H23.7.24		腸管出血性大腸菌感染症1人			腸管出血性大腸菌感染症1人	
30	H23.7.25 ~ H23.7.31		腸管出血性大腸菌感染症3人 後天性免疫不全症候群1人	クロイツフェルト・ヤコブ病1人			
31	H23.8.1 ~ H23.8.7					つつが虫病1人	
32	H23.8.8 ~ H23.8.14						
33	H23.8.15 ~ H23.8.21		腸管出血性大腸菌感染症1人				
34	H23.8.22 ~ H23.8.28		腸管出血性大腸菌感染症1人 細菌性赤痢2人		腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人	
35	H23.8.29 ~ H23.9.4		後天性免疫不全症候群1人			腸管出血性大腸菌感染症1人	
36	H23.9.5 ~ H23.9.11						
37	H23.9.12 ~ H23.9.18	麻しん1人					アメーバ赤痢1人
38	H23.9.19 ~ H23.9.25			梅毒1人			
39	H23.9.26 ~ H23.10.2						
40	H23.10.3 ~ H23.10.9						

VI 結核(二類全数把握疾患) 単位：人 2011年第22週～第40週

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
22	H23.5.30 ~ H23.6.5	2	2		1	1	
23	H23.6.6 ~ H23.6.12	1	2		2		
24	H23.6.13 ~ H23.6.19	1	5	5	2		
25	H23.6.20 ~ H23.6.26	1	1	8	1	6	3
26	H23.6.27 ~ H23.7.3	1	1	2		1	
27	H23.7.4 ~ H23.7.10		3	10		6	
28	H23.7.11 ~ H23.7.17	1		10	1	3	
29	H23.7.18 ~ H23.7.24	1	1	3		4	
30	H23.7.25 ~ H23.7.31	1	1	3	2		3
31	H23.8.1 ~ H23.8.7	2		3	2	5	
32	H23.8.8 ~ H23.8.14	3		3	2	1	
33	H23.8.15 ~ H23.8.21		1		1		1
34	H23.8.22 ~ H23.8.28			7		3	2
35	H23.8.29 ~ H23.9.4		1		4	1	
36	H23.9.5 ~ H23.9.11	2	6	1	3	1	2
37	H23.9.12 ~ H23.9.18	1	1	3		1	
38	H23.9.19 ~ H23.9.25	2		2			
39	H23.9.26 ~ H23.10.2	8		2	1	1	1
40	H23.10.3 ~ H23.10.9	1	1	1		4	

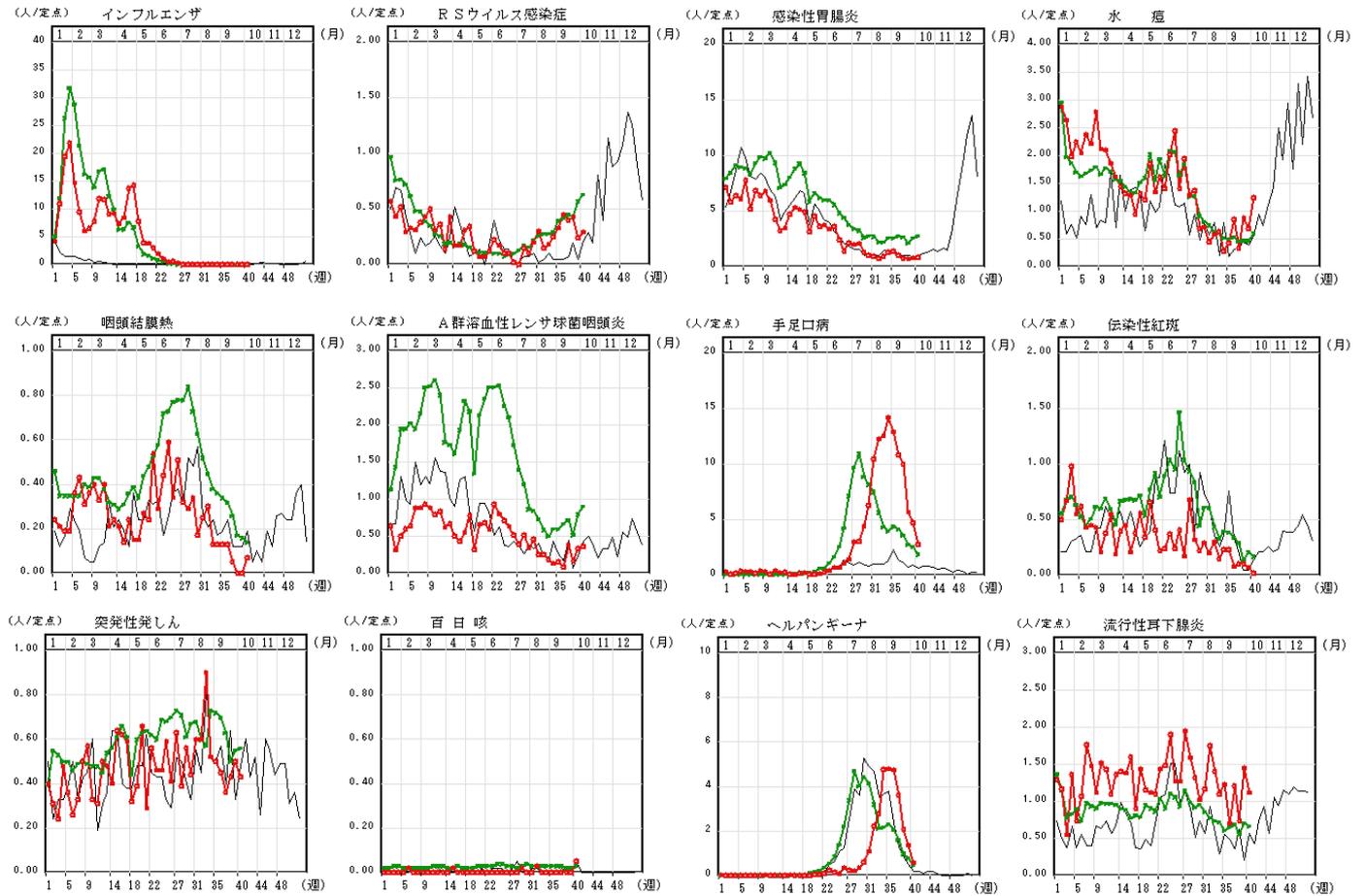
VII 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）（注：届出状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

2011年10月17日17時00分集計速報値

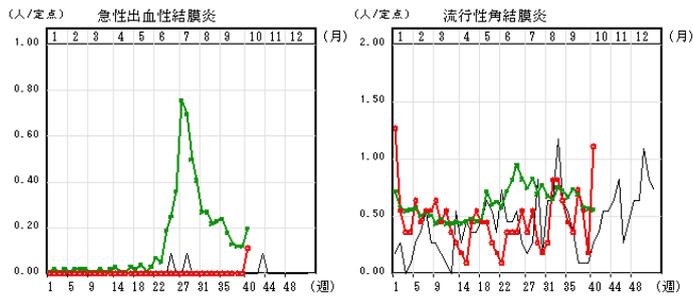
	二類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
	急性灰白髄炎	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	コクシジオイデス症	チクンガニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ポツリクス症	マラリア	ライム病
全国	1	23460	8	234	3360	19	20	48	158	13	11	2	6	170	84	119	7	3	63	6
青森県	0	334	0	2	23	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0
	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	髄膜炎	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん		
全国	2	610	17	637	192	204	7	104	160	1105	52	7	1	591	92	45	325	406		
青森県	0	2	0	2	0	2	0	1	2	4	0	0	0	6	3	1	0	1		

グラフの説明 ○—○は 2011 年青森県、——は 2010 年青森県、○—○は 2011 年全国

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 2011 年第 40 週



Ⅸ 眼科定点把握疾患週別推移 2011 年第 40 週



X 基幹定点把握疾患週別推移 2011 年第 40 週

